

'15.3

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行人 兵庫県商工連会
代表者 木南岩男
発行人住所 神戸市中央区花隈町6番19号
☎078(371)1261(代) ☎650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 安 平 一 志
印刷所 有限会社 浜田デザイン写植
会員の購読料は会費に含んでおります

第691号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成26年度 スローガン

商工会は行きます 聞きます 提案します



▲おいしいお米作りを追及し続ける代表 井澤氏(写真右)と従業員さん

Contents

■県連合会Letter 2～3頁

- ・第5回中小企業支援力向上研修会
- ・情報発信支援員を設置
- ・県青連 経営革新研修会
- ・県商工青年同友会 研修会

■あなたのまちの元気な企業(稲美町) 4頁

■商工会Letter 5～6頁

- ・スマートフォンアプリ「はないち」をリリース
……………(芦屋市)
- ・カキを使った特産品を販売 ……(たつの市)
- ・SWEET PARTYを開催 ……(新温泉町)

農家さんと二人三脚でお米作り

株式会社井澤商店

(稲美町)

のどかな田園風景が広がる稲美町で、株式会社井澤商店は日夜、農家さんと二人三脚で、おいしいお米作りを追及する。

お米のソムリエと言われる「米食味鑑定士」の資格を持つスタッフが、収穫したお米の「香り」「粘り」「甘味」などをチェックし、来年の土づくりや肥料を与えるタイミングなど、的確にアドバイスを行う。

おいしいお米を作るために最低限必要とされる五手間(土づくり、元肥、調節肥、穂肥、実肥)が1つでも欠けてはいけない。1つでも抜けてしまうと、お米はそれだけの味になってしまうのだ。同社のさまざまな取り組みが功を奏して、4年連続で山形県庄内町で開催される「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」で入賞し続けている。(詳細は4頁)

第5回

中小企業支援力向上研修会

「論理的思考能力の向上」

県連合会は1月26日、兵庫県中央労働センターで職員の論理的思考能力の向上を目的とした「第5回中小企業支援力向上研修会」を開催した。

午前の研修では兵庫県産業労働部経営商業課の近藤健一主査から「中小企業の経営計画策定のより良い支援のために」と題し、経営革新計画策定の意義や申請書類の作成方法について実際の事例を申請書類や事業所の映像を交え検討した。

近藤主査からは、今回の研修を通じて商工会職員による、さらなる経営革新の推進に努めていただきたいとの要望があった。

午後の研修では中小企業診断士で、県連合会チーフアドバイザーの服部悦章氏を講師に迎え、論理的思考を活かした企業の課題発見と課題解決に向けた手法を学んだ。論理的思考の導入として相談者からの情報収集、事実の確認、価値の判断といった経営指導をする上で必要な流れを図にして解説が行わ

れた。

課題を解決するプロセスではグループ討議を行い、意見交換や発表をすることで、職員には新たな気づきのきっかけにもなった。

講師からは、論理的思考能力を向上させることは事業所の経営指導に活用できるだけでなく、普段の仕事の効率化においても業務改善に役立てることができるので実践してほしいとの言葉があった。



▲講師 服部氏から課題解決のプロセスを学ぶ受講者たち

3月のこよみ

- 2日(月) 若手後継者等育成事業採択審査会
- 4日(水) 人事調整委員会・人事管理委員会
- 9日(月) 労働環境対策事業採択審査会
- 11日(水) 地域活力増進事業等採択審査会
- 16日(月) 正副会長・常任理事会、事業委員会
- 19日(木) 県青連 正副会長常任理事会、全国大会準備委員会
- 27日(金) 理事会・臨時総会

4月のこよみ

- 9日(木) 県青連 正副会長常任理事会・理事会・監事会
- 14日(火) 県女性連 正副会長常任理事会・理事会・監事会
- 17日(金) 県商工青年同友会 通常総会
- 21日(火) 県女性連 通常総会
- 24日(金) 県青連 通常総会
- 28日(火) 事業委員会

IT利用促進による業務効率化・新規顧客獲得を目指して!

小規模事業所さんのIT利用を促進する
情報発信支援員の巡回サポートを実施!

小規模事業所さんのIT活用を促進し、地域外の新たな顧客獲得や業務効率化に取り組むためにIT専門家による情報発信支援員を県連合会に設置し巡回サポートを行います!

相談・支援の3つのメニュー

1 IT利活用の業務効率化

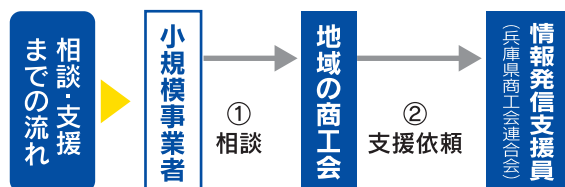
PCやタブレット導入による業務効率化支援、業務システムの導入支援

2 情報発信力向上

ホームページやブログなどの新規開設、リニューアルなどの相談・支援、FacebookやLINEなどSNSの導入・運用アドバイス

3 ネット販売を活用した販路拡大

インターネットショッピングサイトの開設、モール出店などインターネット活用による販路拡大の支援やアドバイス



③地域の商工会担当者同行で訪問サポートを実施

私たちが
巡回サポートに
伺います!



中西 雅幸



松村 亮平



榎原 貴倫

お問い合わせは、お近くの商工会まで

確実にやるのは
どこでもできる。
確実に速くやるからこそ
「価値」になる。

三井住友銀行
LEAD THE VALUE
三井住友フィナンシャルグループ

県青連 経営革新研修会を開催

県青年部連合会（和島将志会長）は、1月15日、朝来市・幸徳殿において経営革新研修会を開催。県下各地域の青年部幹部75人が参加した。

今年度は但馬地区商工会青年部連絡協議会が主管。講演会とパネルディスカッションを行い経営に対する知識を深めた。

当日は、「事業再生とM&Aを活用した事業展開」をテーマに経営難に陥ったスキー場をM&A（合併・回収）などで引き継ぐスキー場再生ビジネスを手掛けている㈱マックス代表取締役一ノ本達己氏を講師に招き研修を行った。



▲真剣に耳を傾ける青年部員



▲パネルディスカッションを行う志業ネットワークのメンバーと和島県青連会長

同社は全国33カ所のスキー場のほかホテルやゴルフ場などを経営し、年商は2百億円に上る。講演はスケールメリットを活かし各スキー場共通のシーズン券の販売など売り上げ増加につなげた様々な経営手法についての内容であった。

パネルディスカッションでは講演会に引き続き一ノ本氏や但馬の若手土業者らでつくる「志業ネットワーク」のメンバーと和島会長をパネラーに招き「経営のツボ」と題したパネルディスカッションを行い、人材育成や資金調達、財務管理、情報収集など経営の注意点について意見交換を行った。

第3回研修会 及び賀詞交歓会を開催

県商工青年同友会

県商工青年同友会（今北義明会長）は、去る1月17日、センタープラザ西館（神戸市）において、第三回研修会を開催し、同友会会員、県青連役員等24人が参加した。

当日は、宮本周司 全国商工会連合会顧問（参議員議員）を講師に招き「小規模企業振興基本法について」と題し、講演会を開催。自身が小規模事業者として県青連会長や全青連会長を経験しており、商工会のとの関係も深いことから、実体験に基づくいろいろな話を聞くことができた。



▲熱心に講演を聞く参加者



▲「小規模企業振興基本法」について熱弁する宮本氏

また、小規模企業振興基本法に対しても成立に至るまでの経緯や実情に即した支援策について研修を受けることができ、参加者にとっては非常に有意義な時間となった。

研修会後に開催した賀詞交歓会の場に宮本氏も引き続き参加していただいた。また、兵庫県商工青年同友会とも関わり合いが深いということから、参加者と和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深めた。



始めませんか～新しい環境貢献～

ひょうご「企業の森づくり」

環境への貢献のため、森林整備をお考えの企業や団体等の皆様のお手伝いをします。

- 活動フィールドの斡旋
- 森林整備についての助言・提案・技術指導
- 施業委託先の紹介

◆お問い合わせは◆

公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

〒650-0012

神戸市中央区北長狭通5-5-18 県林業会館内

TEL 078-341-4070/FAX 078-341-4071

兵庫県農政環境部 環境創造局 豊かな森づくり課

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1

TEL 078-362-3144/FAX 078-362-3954

URL: <http://www.hyogo-green.net/>

一中小企業と共に55年一

商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする

県共済

兵庫県共済協同組合

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3-28 兵庫県中央労働センター 4階

☎ 078-361-8080 Fax 078-371-6757

ホームページ www.Ken-Kyosai.or.jp

あなたのまちの元氣な企業

株式会社井澤商店 (稲美町)

農家さんと二人三脚

飽くなき探求心

株式会社井澤商店は、明治27年に稲美町で創業。日本で初めて人造肥料を製造した多木化学の特約店として、創業当時から肥料小売販売業を営む。

現在、4代目にあたる代表取締役 井澤潤次朗氏は家業を継ぐ前、先代にあたる父から普及し始めたパソコンを用いて、自社の商品を管理するよう言われた。時代の流れとともに、さまざまなソフトが発売され、その度に父から「○○っていうソフトがいいらしい」と言われ、新しいソフトを用いて管理をした。

しかし、当時使用していたソフトは使い勝手の悪いものだったという。市販されているソフトは、決められた形となっていたため、入力する人がソフトに合わせて管理しなければならぬ。こうやって管理ができれば便利なのに...と思ってもできない。もどかしく感じることもあった。また当時、同社で働く従業員もなかなかソフトを使って管

理をしてくれなかったという。

そこで井澤氏は、独学で顧客管理と自社の商品の在庫管理だけでなく、納品書から請求書まで作成することができるよう販売管理システムを構築させた。

時代の流れを

見据えて

現在は、創業当時から肥料販売だけでなく、水稻苗の販売、ラジコンヘリコプターを使った農薬散布、完全個別処理のライスセンターの運営など行う。

多くの米農家は、自ら作ったお米と他の農家が作ったお米が一緒のタンクに保存される地元農協が運営するライスセンターに持っていく。

いろんな農家が作ったお米がブレンドされ、味は良くも悪くも均一のものとなる。せっかくいいお米を作ったのなら個々で管理できるライスセンターがあってもいいのではないかと思い、先代の社長が完全個別処理のライスセンターを開設した。また、水稻苗種子を田植えできる状態

にまで育てた苗も販売している。周囲からは本場にニーズがあるのかなと言われたが、今ではライスセンター同様、田植えの時期には仕事に追われ、依頼する農家が後を絶たないという。



▲完全個別管理のライスセンター

作った農作物を売る時代から売れる農作物を作る時代へ

「売れるお米を作ってくれる農家さんのお米を販売することにこれから一番力を入れたい」と井澤氏は語る。

一般的なお米の価値は、「産地」、「品種」、「等級」で決まり、これが市場価格となる。つまり味は関係ない。

自ら作ったお米を直接消費者に販売し、「おいしい」と言われる農家さんになれば、せっかくおいしいお米を作っているにも

かわらず、自分で販売する術を知らない農家さんもいる。

そんな農家さんが作るお米を好むファンを1人でも多くつくり、出荷することが同社の使命だという。

また、毎年同じ味で消費者のもとにお届けできるよう、土づくりから、肥料のやり方、育て方などを農家さんにアドバイスし、常に「おいしいお米」が収穫できるようにコンサルティングを行う。

一般的なお米のコンテストは、食味計の点数で予選を行う。本当にいいお米が必ずしも点数が高いとは限らない。

山形県庄内町で開催される「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」は一般審査員が普段食べているお米と食べ比べてどうかを基準に審査を行う。このコンテストにある農家さんのお米を出品することになったが、結果は予想通りのものとなった。

この経験が、より農家さんに寄り添って「おいしいお米作り」に取り組みもうという姿勢につながった。今では、同社のアドバイザーを受けたお米が4年連続で受賞するなど結果を出している。



▲おいしいお米作りのために日々研究を重ねる

稲の美しい町

「稲美町」で

同社のある稲美町は「稲」の「美しい町」と書く。自社をPRするうえで、この町と一緒にPRしない手はない。

昨年には、台湾で開催された「台湾 日本米フェア」に出店し、実際にお米を炊いて、試食販売も行った。

これからも日本米の魅力を、そして地元稲美町で農家を営む農家さんが作るおいしいお米を国内だけでなく世界に向け発信し続ける。

【企業概要】

企業名/株式会社 井澤商店
代表者/井澤 潤次朗
創業/明治27年
所在地/加古郡稲美町印南829
TEL 079-495-0019
FAX 079-495-3017
営業時間/8:30~17:30
定休日/土曜、日曜、祝日
URL <http://www.nihon-rice.com>

小規模事業者を応援します！

「小規模事業者の持続化支援」26年度補正→252億円

①小規模事業者持続化補助金

小規模事業者が商工会・商工会議所と一体となって販路開拓に取り組む費用(チラシ作成費用や商談会参加のための運賃など)の2分の3を補助します。

また、①複数の事業者が共同で行う取組や、②雇用対策・買い物弱者対策への取組を行う事業者に対しては重点的に支援(補助上限のアップ)します。

②広域型小規模事業者販路開拓支援事業

既存の商圈を超えた広域に販路を拡大しようとする小規模事業者を対象に、物産展や商談会の開催、国内外のアンテナショップやインターネットによる販売支援などを行います。

補助上限額 50万円(①500万円、②100万円) お問い合わせ先:兵庫県商工会連合会または各商工会

ものづくり・商業・サービス革新を支援します！

「ものづくり・商業・サービス革新補助金」26年度補正→1,020億円

補助対象 ①新しいサービス、新商品・試作品の開発

②複数者が共同で取り組む設備投資等

※創業間もない企業や小規模事業者は申請書類が簡素化されます

補助上限額 ①1,000万円

②共同体で5,000万円(500万円/社)

※設備投資をせずにサービス開発をすることもできます(上限700万円)

新しい商品・サービスの開発や業務プロセスの改善、新しい販売方法の導入など、中小企業・小規模事業者が事業革新に取り組む費用の2/3を補助します。

今回は、共同体で行う設備投資なども支援対象に追加します。

お問い合わせ先:中小企業庁技術・経営革新課 ☎03-3501-1816



詳しい情報は、中小企業庁ホームページや中小企業庁が委託して運営する支援ポータルサイト「ミラサポ」の施策マップでご覧いただけます。

ミラサポ

検索

コラム

ひねり経営勉強会」という名の
さて、当会では毎月2回「お
ればならないと感じています。
会職員がその使命をはたさなけ
け止め、今まさに商工会、商工
この法律の意味をしっかりと受
ものであると認識しています。
経営発達支援計画はまさにその
支援等に対する真価が問われ、
の喜びとともに、商工会の企業
事業者に光が当てられたことへ
支援法」の一部改正は、小規模
業振興基本法」制定、「小規模
変化しました。特に「小規模企
会職員を取り巻く環境は大きく
変化しました。特に「小規模企
業振興基本法」制定、「小規模
支援法」の一部改正は、小規模
事業者に光が当てられたことへ
の喜びとともに、商工会の企業
支援等に対する真価が問われ、
経営発達支援計画はまさにその
ものであると認識しています。
この法律の意味をしっかりと受
け止め、今まさに商工会、商工
会職員がその使命をはたさなけ
ればならないと感じています。
さて、当会では毎月2回「お
ひねり経営勉強会」という名の

先日、中村文昭氏(南クロフ
ネカンパニー代表取締役)の講
演会に行きました。講演を聴く
のは2回目、数年前にお聴きし
た時の「頼まれごととは試され
と」「返事は0・2秒」「できな
い理由を言うな」「今できるこ
とをやる」の言葉が印象的です。
今回の講演テーマは「今こそ何
のために」の時代。自分自身
のあらゆるシーンに問いかける
つもりで聴きました。



豊岡市商工会
成田 孝志

商工会職員としての使命

私は平成11年から商工会に勤
務しています。当時と比べると
現代の会員企業、商工会、商工
会職員を取り巻く環境は大きく
変化しました。特に「小規模企
業振興基本法」制定、「小規模
支援法」の一部改正は、小規模
事業者に光が当てられたことへ
の喜びとともに、商工会の企業
支援等に対する真価が問われ、
経営発達支援計画はまさにその
ものであると認識しています。
この法律の意味をしっかりと受
け止め、今まさに商工会、商工
会職員がその使命をはたさなけ
ればならないと感じています。
さて、当会では毎月2回「お
ひねり経営勉強会」という名の
さて、当会では毎月2回「お
ひねり経営勉強会」という名の

勉強会を開催しています。ここ
で言う「おひねり」とは、例え
ば大道芸を見た時の気持ちを
金で表現して支払う意味で、そ
こには価格競争も値引き要望も
ありません。勉強会では小阪裕
氏の「わくわく系マーケティング」
を基にした内容で、「人に
フォークス」した経営を目指す
ものです。顧客の喜ぶこと、顧
客のために何をしたらいいのか
を考え仕組み化する。その繰り
返しがおのずと経営者の価値観
にあった顧客を集め、お店(経
営者)のファンを増やし経営を
安定化させてくれます。

阪神地区商工会・商工会議所青年部

若手後継者等育成事業

スマートフォンアプリ「はないち」をリリース

阪神7市1町
商工会議所・商
工会青年部連絡
協議会（幹事・
芦屋市商工会青
年部）は、今年
度、若手後継者
等育成事業の採
択を受け、ス
マートフォンア
プリ「はない
ち」（iPhone、
Android版）を
開発、リリース
した。

同協議会（芦

屋市、尼崎市、伊丹市、猪名川町、
川西市、三田市、宝塚市、西宮市）
の青年部員事業所情報をダウン
ロード型アプリで紹介し、ビジ
ネスマッチングの機会を高める
ことを目的としたもの。

「はないち」は阪神の「は」、
7市の「な」、1町の「いち」
から命名。

本アプリのリリースに合わ
せ、2月6日、芦屋市・ホテル
竹園芦屋にて「はないち」制作
発表と交流会を開催。阪神7市
1町の若手経営者等が「はない
ち」への思いと地域の現状報告
を行い、大いに賑わった。



iPhone、
Androidの各
マーケットに
て「はないち」
で検索。



本アプリは印刷物のような一
時的なスポット広告ではないた
め、持続的な
効果が期待で
きる。

力キを使った特産品を販売！

たつの市商工会 ひょうご「まちおこし」支援事業

たつの市商工会（緒方義則会
長）は、1月25日たつの市御津
町で開催された「第9回室津か
きまつり」に出店し、力キを使っ
た特産品販売と新商品の試食会
を行った。

当日は、「梅と潮の香マラソ
ン」が同日開催され、市内外か
ら多くの来場者が訪れ盛大な祭
となった。女性部ブースでは毎
年好評を得ている「牡蠣クリー
ミーコロッケ」を販売。12時す

ぎには用意していたコロッケ
500個は完売した。

購入した来場者からは「この
イベントでしか食べられないの
が残念。」「牡蠣の味がしっか
りしていて美味しい。」という声
が寄せられた。また、商工会ブ
ースでは今年度、県連合会の「ひ
ょうご『まちおこし』支援事業」
の採択を受け、現在開発中の室
津牡蠣を使用した3種類のお菓
子大試食会を実施。試食を行っ



▲室津牡蠣の味が凝縮されたコロッケ

た商品は、今回寄せられた意見
を参考にしながら、室津牡蠣を
使った3番目の商品として4月
販売開始予定。

商工会担当者は、旬の牡蠣を
堪能していただくだけでなく、
2月中旬か
ら見ごろを
迎える綾部
山梅林を見
に、たつの
市へ足を運
んでほしい
と語った。

出会い応援事業

「SWEET PARTY」を開催

新温泉町商工会青年部

新温泉町商工会
青年部（岡本雄一
郎部長）では、1
月18日、湯村温泉
にて出会い応援事
業「SWEET
PARTY」を開
催した。

本事業は、県下
でも過疎化が進
み、若者の減少が
著しい新温泉町に
おいて、独身の男
女の出会いのきつ
かけの場を提供す
ることを目的とし
たイベントで、新温泉町の支援
を受け、昨年度より取り組んで
いる。

3回目となる今回のイベント
開催にあたり、町内や隣接する
地域に向けて新聞折込に参加者

募集チラシを入れPRを行うと
共に、青年部員が手分けをして
事業所へチラシを配り、イベン
トへの参加を呼びかけた。

今回は、前回開催し、好評だっ
た「スイーツビュッフェ」を楽
しみながらの交流イベントで、
スイーツは町内の菓子販売店か
ら人気のスイーツを集めて開
催。

また、参加した男性を対象に
事前セミナーを開催し、女性と
のコミュニケーションのコツや
気をつけるポイントなどをレク
チャーした。

当日は、町内外から独身男女
27人（男性14人、女性13人）が
参加し、8組のカップルが成立
しました。

参加者からは「楽しく参加で
きた」と大変好評だった。

青年部では、今後もパート
ナーを見つ
けることが
できるよう
な企画を立
て、イベン
トを継続し
ていきたい
と考えてい
る。

